

## 城南家保ニュース R4. 3月号

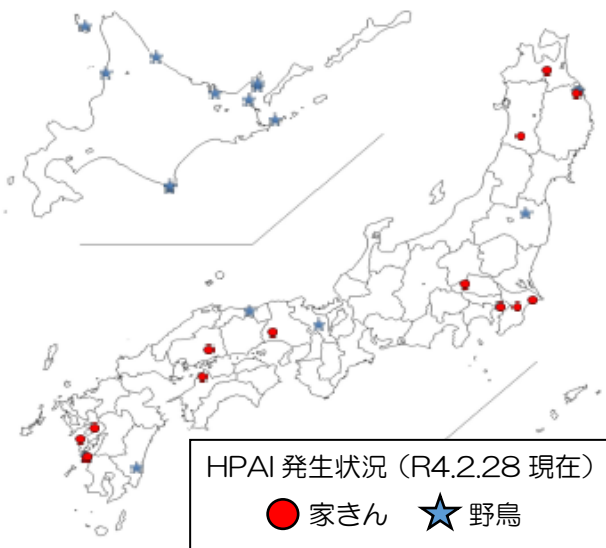
熊本県城南家畜保健衛生所

〒868-0042 人吉市蟹作町 1237-1

TEL : 0966-22-3814 FAX : 0966-22-3617

EMAIL : jounankaho@pref.kumamoto.lg.jp

### 鳥インフルエンザ、暖かくなっても油断禁物です！



三寒四温の時期となり、渡り鳥の北帰行が始まりますが、国内での高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）の発生は継続して確認されています。また、死亡野鳥からのウイルス分離も多く報告されており、油断できない状況が続いています。

過去には4月中旬に発生した事例もあり、HPAI特別防疫対策期間は4月までとなっています。引き続き、消毒などの防疫対策やため池の野鳥対策等の徹底をお願いします。

### 異常産ワクチンを打ちましょう！

流産、早産、死産、体形異常など「牛の異常産」は、細菌、ウイルス、栄養障害など様々な原因があります。中でも、アカバネ病、チュウザン病、アイノウイルス感染症、ピートンウイルス感染症等による異常産（ウイルス性）は、蚊やヌカカ等の吸血昆虫が媒介するため、これから春～夏にかけて発生リスクが高くなると考えられます。妊娠母牛が感染した場合、母牛に症状はありませんが流産や死産となり、生きて生まれた場合でも奇形等により発育不良となるケースが多く、経済的損失に繋がります。

これら4つの疾病は、ワクチンにより予防できます。毎年接種を行い、異常産を予防しましょう。

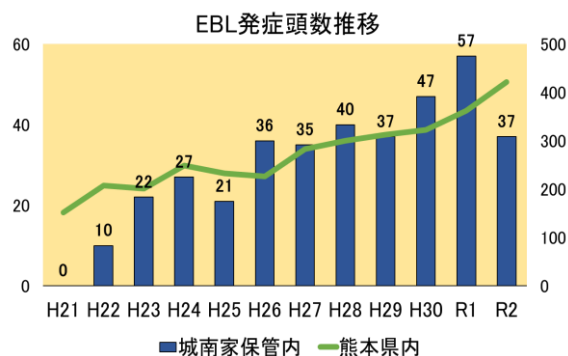


右：アカバネ病

中：チュウザン病

左：アイノウイルス感染症

# 牛伝染性リンパ腫 (EBL) の対策を！



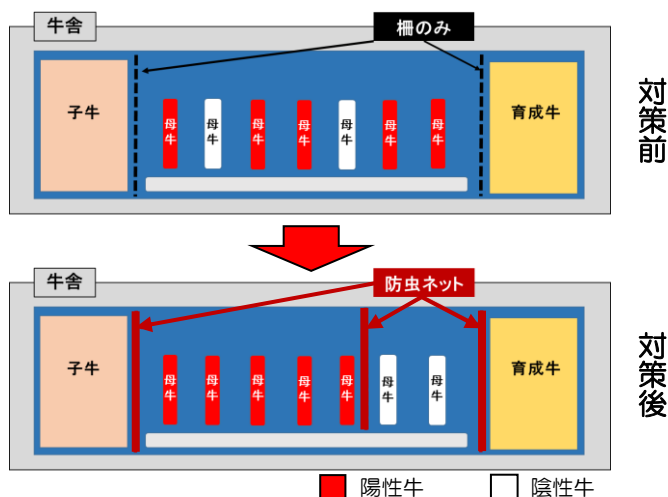
牛伝染性リンパ腫 (EBL) の発生頭数は増加傾向にあり、農場内でのまん延も増えています。陽性牛の急激な増加により、感染防止対策が追いついていないのが現状です。EBLは、吸血昆虫による血液の媒介や血液の舐めとり、陽性母牛からの哺乳等により感染します。感染牛由来のリンパ球1,000個、血液量でいうと約1μlで感染が成立するといわれ、吸血昆虫の口に付着した程度の血液でも感染する可能性があります。そのため、吸血昆虫対策や牛

群の隔離等が重要となります。その他、除角や去勢、削蹄等の出血を伴う作業でも、器具を介し感染する危険があるため、器具の洗浄・消毒を徹底し、また陽性母牛の哺乳により子牛に感染するため、早期離乳や非感染牛由来の初乳給与、陽性母牛の隔離等の対策も必要となります。

## <感染対策例>

- 牛房間に防虫ネットを設置  
吸血昆虫が、吸血後すぐに他の牛へ移動できなくするだけでも効果が見込めます。
- 陽性牛と陰性牛を1房分(4~5m)離す  
感染リスクが高い(保有ウイルス量が多い)牛は、唾液中にウイルスを排出する場合があります。
- つなぎ飼いの場合、牛群の並び替え
- 早期離乳
- 可能であれば、陽性牛を他の牛舎、農場に移動
- 陽性牛の計画的更新、陰性後継牛の確保

(例) 防虫ネット設置、並び替えを実施



1頭 EBL 陽性牛が導入されそのままにしていたら、気付けば同牛房内の全ての牛が陽性になっていたという話も珍しくなく、突然発症して廃用になってしまうケースも多く、経済的損失に繋がります。

**EBLは伝播しやすく、経済的損失を出す重要な疾病です。  
感染予防対策及びまん延防止対策等の対応をお願いします！！**

## 近隣諸国における海外悪性伝染病発生状況

病名	型	発生地(国)	畜種	発生年月日
高病原性鳥インフルエンザ (HPAI)	H5N1	韓国 (19件)	家さん (産卵鶏、ブロイラー種アヒル、肉用アヒル、ウズラ)	令和4年1月29日~令和4年2月22日
		韓国 (10件)	野鳥	令和4年1月13日~令和4年1月27日
	香港	家さん	令和4年1月21日	
	ロシア	家さん	令和4年2月5日	
	H5N2	台湾 (7件)	家さん	令和4年2月8日
アフリカ豚熱 (ASF)	H5N8	韓国	野鳥	令和4年1月23日
	韓国	野生イノシシ	令和4年2月11日	
	香港	野生イノシシ	令和4年1月12日	
		ロシア	豚・野生イノシシ	令和4年1月24日

令和4年(2022年)3月1日現在